

第十六回岡山県「内田百閒文学賞」受賞作品

【優秀賞】（岡山県郷土文化財団理事長賞）

作品名	児島の梅（ジャンル：小説）
作者名	鷺見 京子（本名）
プロフィール	<ul style="list-style-type: none">・昭和31(1956)年5月4日生（66歳）・倉敷市在住・無職 〈受賞歴〉 第14回 木山捷平文学選奨 短編小説賞受賞



作品の概要

五流尊瀧院（旧児島郡）の麓で暮らす藻塩焼きの娘稲虫は、養父の死を機に、家族のため児島と名を変え、遊行郎女として筑紫の国太宰府に赴く。太宰府で児島は太宰権帥大伴旅人に出逢い、側に仕え、幸せな日々を送る。そんな中、大伴旅人が大和に帰京することになる。二人は別れの歌を贈り合うが…。万葉集の世界を背景に児島と大伴旅人、二人を軸に物語は進んでいく。

審査員講評

千三百年前の飢饉と流行り病にあえぐ吉備の国を舞台に、少女と孤児と尼が出会う。運命に翻弄されながら生きる三者と万葉集の世界を重ね合わせ、巧みな構成と筆致によっていにしえの時間に誘う。

※年齢は令和4(2022)年12月13日時点